

■ コミュニティとの意見交換会(要旨)

1 現状と課題

現状と課題	人の流れとにぎわい	<p>(1) 多賀地区では少子高齢化が進み、人口も減少している。駅中心部だけでなく、成沢学区や金沢学区などの周辺の人達が駅を使わなければ、駅周辺のにぎわいは生まれにくい。</p> <p>(2) 駅前にはお店も少なくなってしまう、魅力を感じないので、わざわざ駅周辺まで行って買い物をすることはない。昔は駅前にパチンコ屋などもあって人も集まっていたが、今はなくなってしまった。</p> <p>(3) 常陸多賀地区に住んでみたいと思われるモノ、コトが必要。茨城県全体を見ても、県北地区は寂しいと感じる。</p> <p>(4) 大久保学区から河原子海岸へは、物理的には近いのだが気軽にいけるという感覚が無い。行きづらい印象がある。また、国道6号の山側と駅側にも隔たりがあるように感じており、大久保交流センターでのイベントなどでも、山側から国道6号を越えてくる参加者は比較的少ないように感じている。</p> <p>(5) 河原子地区では、国道245号が壁になっている。交流センターの利用者は東多賀町の住民が多く、河原子町からの利用者は比較的少ない状況がある。</p> <p>(6) 高齢者などの買い物弱者対策が必要である。</p>
	交通環境	<p>(1) 駅前には、送迎車両で混雑する状況がある。ロータリー内にはタクシー・バスの営業車両と緊急車両を優先するなど、渋滞緩和につながる工夫をしてほしい。</p> <p>(2) 駅西口のロータリーでは、送迎スペースが混雑し、ロータリー内が渋滞してしまうので、スペースを増やすなど、対策をお願いしたい。</p> <p>(3) 駅前には学習塾に通う子どもの送迎で、駐車車両が混雑する時間帯がある。(21:00頃)</p>
常陸多賀の魅力について	<p>(1) 多賀市民プラザという良い施設があるので、利用状況を確認しながら更なる活用を求めてほしい。</p> <p>(2) 海を意識した開発や河原子海岸の活用を推進してほしい。浜の宮ロードパークは人気があるようだ。</p> <p>(3) 親不孝通りなどの路地裏空間がいかせると良いと考える。</p> <p>(4) 街歩きをする際に、よかっぺ通りは広すぎると感じる。かどや周辺の通りなどのほうが、程良い距離感だと感じる。</p> <p>(5) 女性フォーラムで作成している飲食店マップなども活用してほしい。</p> <p>(6) 駅前の小売店には他所から人を呼べるセールスポイントが必要である。それはチェーン店にはなかなか備わりにくいものなのではないか。</p> <p>(7) 大久保学区から河原子海岸へは、物理的には近いのだが気軽にいけるという感覚が無い。行きづらい印象がある。また、国道6号の山側と駅側にも隔たりがあるように感じており、大久保交流センターでのイベントなどでも、山側から国道6号を越えてくる参加者は比較的少ないように感じている。(再掲)</p> <p>(8) 河原子地区では、国道245号が壁になっている。交流センターの利用者は東多賀町の住民が多く、河原子町からの利用者は比較的少ない状況がある。(再掲)</p>	

2 まちづくりの理念と基本方針

まちづくりの理念と基本方針	くらし	<p>(1) 水戸や日立の駅前と張り合う必要はない。地域住民が住みやすさ、便利さを感じられるまちをつくってほしい。</p> <p>(2) 商業施設の誘致を優先するのではなく、人に住んでもらうことを優先するべきである。</p>
	にぎわい	<p>(1) にぎわいを生み出すということについて、お祭りのなにごわいではなく、駅前に行けば買い物や飲食などの日常生活が完結できるので、人が集まるという環境が望ましい。</p> <p>(2) 新規出店者や若い事業者は、現状のテナント料が安いから出店できるという状況もあるのではないか。開発の結果、賃料が上昇してしまう場合の対策も必要なのではないか。</p> <p>(3) 周辺の空き店舗・空き地の活用を推進してほしい。</p> <p>(4) 駅周辺の空き店舗や空き地をどうするのかということ全体を考えると、民有地に手を付けるのはなかなか難しいところもあると思う。</p> <p>(5) にぎわい創出のためには商店会の取組も重要となる。商店会にも意見を聞きながら、商店同士のネットワークを活性化させる方策なども検討してほしい。</p> <p>(6) 日立駅周辺にイトーヨーカドーが進出した際は、地元の商店会との連携が弱かったように聞いているので、多賀地区では地元の商店会と連携しながら進めてほしい。</p> <p>(7) 新しくお店を始めた人の声も聞いてほしい。</p> <p>(8) 飲食店をやっている若い人達を入れて、そういった人達の意見や何に苦労しているかといったことを聞くことも大事ではないか。</p>
	持続可能なまちづくり	<p>(1) 高校生や大学生などに、駅周辺にどんな施設があったら良いか、若い人の目線で意見がまとめられるよう、アンケートを取ったら良いと考える。</p> <p>(2) 持続可能なまちづくりを考えたときに、今の若い世代がどう考えているのか、若い人たちの意見も積極的に取り入れてほしい。</p> <p>(3) 子育て世代の意見も取り入れながら事業を進めてほしい。</p>
	その他	<p>(1) 日立市では、この整備計画の他にも、内容に関連があるバリアフリー計画などが策定されているが、今回のような整備とあわせて、各種の計画に位置付けられた事業などを推進してほしい。</p> <p>(2) まちづくりを進めるにあたっては、計画に数値目標を設定しながら取り組むことも大切ではないか。</p>

3 施設整備計画について

施設整備計画	土地利用計画	<p>(1) 飲食店などのお店を集約するような施設の整備、駐車場のシェアなどについても検討してもらいたい。お店が点在していると、回遊性を持たせようとしてもなかなか難しい。</p> <p>(2) 商店街の既存店舗も路面店として残すだけでなく、ビルに集約するなどの検討も必要なのではないか。</p> <p>(3) 企業の工場は今後も存続していくことになると思うが、工業エリアが治外法権とならないよう、連携しながらまちづくりを進めてほしい。</p>
	東口	<p>(1) BRTの日立方面への延伸ルートと合わせて、東口の駅前広場も一体的に整備する案は賛成である。</p> <p>(2) 東口の駐輪場にある自転車は、半数程度が放置された自転車であるように見受けられるが、あまり好ましい状況でない。また、整備にあたっては、きちんとバスやタクシープールを整備してほしい。</p> <p>(3) 東口の交通広場を再整備する際は、駐車場もあわせて整備してほしい。</p> <p>(4) 工場周辺では昔、排水の問題があったように記憶しているので、広場整備の際は注意しながら進めた方が良い。</p>
	駅舎	<p>(1) 直近で整備された大甕駅には、ホーム昇降用のエレベーターしかなく、エスカレーターがないため不便に感じる。常陸多賀駅では、ホームの拡張やエスカレーターの設置など、これまでの整備経験などを踏まえながら、利便性が高まるよう、整備してほしい。</p> <p>(2) 常陸多賀駅の駅舎外トイレはブース数が少ないので、環境改善をお願いしたい。</p>
	緑のネットワーク	<p>(1) 緑のネットワークには賛同する。末広町の桜公園～工場沿いの桜～大学通りの桜などを活用してほしい。</p> <p>(2) 工場周辺の桜並木は、昔は30種以上の桜があったが、今は減ってきてしまっている。緑のネットワークは賛成であり、今は100年以上生きる桜の品種も出てきているので、維持管理のしやすさを考えながら、緑化を推進してほしい。</p>
	駐車場	<p>(1) 駅周辺では、最近、若い人達が飲食店を始めているが、駐車場代の負担が大きく苦勞しているようだ。</p> <p>(2) 駐車場がきちんと整備されていないと人は集まらない。だからスーパーなども郊外にできている。駅前に施設を造り、人を集めようとする場合は、駐車場の確保が重要である。</p> <p>(3) 駅前であっても店舗に駐車場は必要だと考える。</p> <p>(4) 駅前には駐車場が少なく、車では行きづらい。</p>
	優先度	<p>(1) 各種の施設整備が予定されている中で、駅舎と自由通路の整備は優先的に進めてもらいたい。</p> <p>(2) 駅の改修は最優先でやってほしい。常陸多賀駅の利用者層は昔からあまり変わらない。ほとんどが工場勤務者と茨城大の学生。客層が変わらず乗降客数もキープしているから駅舎が古くても階段が多くても、JRも特に気にせず動かない現状があるのでないか。</p> <p>(3) 駅の整備を優先的に進めてもらいたい。</p>

施設整備計画	駅周辺への誘致施設	<p>(1) 施設整備にあたっては、若者や高齢者などターゲットを定めながら、出かけたくなるような店、場所が欲しい。</p> <p>(2) 周辺住民の役に立つもの、また他市町村などの他所から訪れる人達にも利用される施設を整備してほしい。</p> <p>(3) 高齢者などが遊べる場所、時間をつぶせる施設を増やすことが必要ではないか。人が集まる場所が出来れば、周りに店も増えてくるのではないか。</p> <p>(4) 駅前には高齢者の買い物の場が期待されていると考える。</p> <p>(5) 高齢者が徒歩で買い物をする際、買ったものをどのように持ち帰るかということも課題だと考える。</p> <p>(6) 大久保学区の住民としては、日用品が購入できるお店が欲しい。また、住民が楽しめるまちをつくってほしい。</p> <p>(7) 通勤客を何とか駅前に留めるような施設を計画してほしい。</p> <p>(8) 通勤客は駅を素通りしているだけなので、引き留められるような施設が必要である。</p> <p>(9) 駅周辺での施設整備にあたっては、通勤客が立ち寄れるような施設、図書館やカフェなどの学生が立ち寄れるようなスペースを整備してほしい。</p> <p>(10) 電車利用者をターゲットにした施設整備も重要である。</p> <p>(11) 駅前にはイベント機能、防災機能を持つオープンスペースや地場産業のマーケットスペースがあると良いのではないか。</p> <p>(12) 駅前地区に居住人口を増やすことは重要だが、戸建て住宅での供給は難しいと考えるので、マンションのような集合住宅にならざるを得ないと考える。</p> <p>(13) 駅前には本屋などの留まれる場所がない。電車を降りても、お茶を飲んだり、買い物をする場所もない。バス待ちの時間に寄る所もない。お店がなくても、たまり場があるだけでも良いので整備してほしい。</p> <p>(14) 東海駅にはステーションギャラリーが併設されており、活用が図られているようだが、多賀駅でも検討してみてはどうか。</p> <p>(15) 駅前だけの買い物で日用品が揃う環境というのは賛成する。</p> <p>(16) 河原子地区には、スーパーがたくさんあるため、買い物に困難を感じているのは、駅西側エリアの人達と考える。また、河原子地区の住民にとって、駅は電車に乗るための場所という感覚がある。</p> <p>(17) BRTで駅前に行って、日用品の買い物ができる、お茶が飲めるなど、一日過ごせるような場所にしてほしい。</p> <p>(18) お年寄りにはゲームセンターに多く集まっているということを知っている。</p>
	その他	<p>(1) 事業を進める際に、総論賛成、各論反対になる可能性があるため、そのような事態を想定した推進方針をあらかじめ準備しておいた方が良いのではないか。</p>

4 公共交通について

交通	公共交通	<p>(1) 金沢地区ではBRT沿線にアクセスする交通手段が少ない。ルート延伸も重要かもしれないが、山側住民が駅やBRTにアクセスしやすくなるような交通手段の確保、利便性向上をお願いしたい。金沢地区では特にバスの本数も少なく、乗客も少ない。車を持っている人がバスに乗って駅周辺まで行くという話はあまり聞かない。</p> <p>(2) 高齢者が駅前まで買い物に行く場合、買物後の荷物をどう運ぶかという課題もあるのではないかな。</p> <p>(3) 駅周辺に人を呼ぶことを考えた場合、電車の利便性向上も重要であり、勝田駅などは始発・終点となる電車が多いため、他の駅よりも優位であると考え。</p> <p>(4) 保護者が塾の送迎を行っているが、小・中学生が使えるタクシーがあっても良いのではないかな。</p>
	ひたちBRT	<p>(1) 延伸ルートは専用道路になるのか。専用道路であれば、渋滞もなく利便性も高くなるが、一般道に出しまうと混雑し、通常の路線バスと変わらなくなる。</p> <p>(2) 利用料金が高いが、定時性は評価できる。</p> <p>(3) 中央線ルートとなる方針には賛成である。利用者の多くなる場所を通すべきである。</p> <p>(4) 朝晩の利用者が多いようだが、日中の利用者が少ない。日中の利用者を増やすことが課題だと考えるが、駅と駅を結ぶだけでは利用者は増えないのではないかな。乗車の目的となる施設が必要であり、病院やさくらアリーナなどに行きやすいルート整備も必要ではないかな。</p> <p>(5) 延伸ルートに関して、国分グラウンド周辺では学生の自転車通行量が多く、安全に通行できる道路環境が必要と考えられるので、ルートの整備とあわせて検討をお願いしたい。また、ケーズデンキ周辺の道路は慢性的に渋滞しているので、乗入れ形態の検討も重要になると考える。</p> <p>(6) 乗り入れを東口に切り替える場合、東側からの進入ルートが課題になると考える。ヨークベニマル、湯楽の里に行けるようなルートが望ましい。</p> <p>(7) 利用促進を図るため、高齢者向けの割引サービスを実施してどうか。</p> <p>(8) 利用者に対して、沿線の店舗がサービスを加えるなどを検討しても良いのではないかな。</p>

■ 常陸多賀地区商店会との意見交換会(要旨)

1 現状と課題

人の流れとにぎわい	<ul style="list-style-type: none"> (1) 山側団地に住む友人から、高齢で自家用車が運転できなくなり、団地に住みづらくなっている現状を聞いている。また、山側住宅地は子や孫に残すような資産ではないということも言っていた。多賀地区管内は日立の中で一番人口が多いのだが、そういった山側団地の住民が多数住んでいるエリアでもある。 (2) 20～25年前にはよかっぺ通り、千石商店会・駅前商店会通りに120～140軒もあった商店も、売上減、後継者不足で現在40～50店で魅力ある商品が数少ない。 (3) 朝(7:00～9:00)、夜(19:00～21:00)に営業している店が少ない。 (4) 日常の買い物が不便。(生鮮食品・普段着・下着・子供用品など) (5) 店舗が少なく車でないと買い物が不便である。多業種の小売りを誘致し、近所で買い物・外食しやすい街づくりを望む。 (6) ドラッグストア、コンビニ、生鮮食品店、朝や夜にも利用できるカフェなど、にぎわいの街ならあるべき店が無い。 (7) 駅前に集える場所が無い。
現状と課題 生活環境	<ul style="list-style-type: none"> (1) 道路があまりにも狭く、買い物や帰宅時など歩行者は不安がっている。それが出歩かない原因の一つとなっているのではないかと。歩行者が安全と思えるような道路整備をしないと、商店があってもなかなか難しい。 (2) 旧国道は歩く際に危険を感じることもあり、郵便局に行く際に怖い思いをする時がある。 (3) 多賀高生などの自転車通学を見ていると非常に危ないと感じている。サイクリングロードや自転車専用レーンなど、自転車が安全に通行できるような整備はできないのか。 (4) 国道6号から多賀駅まで下り坂のため、猛スピードで走る自転車が見受けられ、危険。対策してほしい。 (5) 自転車に怖い思いを感じたことがある。 (6) 今日ここに来るまでも自転車を利用してきたが、走行中、非常に不安を感じるため、自転車専用道路が必要と感じている。 (7) 駅から国道6号まで横断歩道が少なすぎるため、そこかしこで道を横断する人が多い。 (8) 歩道のあちこちに凹凸があり、つまづき転倒する高齢者がたまにいる。階段を少なくするなど、施設のバリアフリー化を推進してほしい。 (9) 休む場所が無い。歩道上のベンチ、休憩所が無い。駅周辺、よかっぺ通り、大学通りなどの街灯を増やしてほしい。 (10) よかっぺ通りの街路樹(ナンキンハゼ)は、落ち葉の処理、街路灯の明かりが塞がれる、各店が見えないなど、課題がある。 (11) 東側のロータリー部分は狭く、交通広場を確保するスペースがあるのか(多賀工場のグラウンド部分だけで足りるのか) (12) 駅西口のロータリーは朝夕や雨天時の渋滞がひどい。 (13) 駅前では、夕方になると交通渋滞がかなりひどい状態で、多くの車が路上駐車している。 (14) 電線地中化など、災害に強いまちづくりを進めてほしい。

<p>現状と課題</p>	<p>生活環境</p>	<p>(15) よかっぺ通りの路上パーキングは、朝早くから止まっていて買い物時に止める場所が無い。</p> <p>(16) 駐車場もよかっぺ通りが無料で利用しやすいが、通勤者、商店従業員も利用しているようで、常に満車であるので長時間利用者に対する規制が必要と思われる。</p> <p>(17) 駅前市営駐車場は出づらい。</p> <p>(18) 駅前の交通の悪さ、駅前の駐車スペースが使いにくい</p> <p>(19) 市営千石町駐車場は、出入口の前後がよかっぺ通り駐車帯の駐車区画となっているため、使いづらい。</p> <p>(20) よかっぺ通りの駐車帯はかつてコインパーキングであったが、管理する側の採算があわず、やめてしまった。やめる際に駐車帯の廃止についても検討があったが、あるに越したことは無いという理由から、無料の駐車帯として残っているという経緯がある。</p>
<p>常陸多賀の魅力について</p>		<p>(1) 現在の魅力や景観を壊さない整備ができるのか懸念がある。</p> <p>(2) 駅東側の工場の桜並木がきれいであり、駅と桜がマッチしている。</p> <p>(3) 海と山が近いので、海と山を感じられる風景</p> <p>(4) 海岸線の風景が良く、のんびり散歩ができる。</p> <p>(5) なだらかな坂になっていて山の景色も良く見え、海側を見れば春は桜、夏は花火が見える。</p> <p>(6) 坂道があまり無いので、歩きやすく自転車も乗りやすい。</p> <p>(7) 夏涼しく、冬暖かい。台風、大雨、強風等自然災害が少なく住みやすい。</p> <p>(8) 駅と商店街との距離感が程良い。</p> <p>(9) 道案内がしやすい。</p> <p>(10) 駅前へのアクセスがしやすい。(近隣住民が駅前に集いやすい街の整備になっている)</p> <p>(11) 車があれば、日常生活を送るうえで必要なものは近隣で賄えるのが良い。</p> <p>(12) 駅や学校が近い</p> <p>(13) 駐車帯が整備されている。</p> <p>(14) 電車、バス、タクシーの乗り継ぎがしやすい。</p> <p>(15) ラウンドアバウト方式のロータリーは使いやすい。</p> <p>(16) 駅とロータリーを中心とした整備(道路)が良い。※駐車スペースは別にして</p> <p>(17) 改札からすぐに電車に乗れ、降りてからも出やすいので、駅の利用が便利である。</p> <p>(18) とても住みやすい街である。駅も改札からすぐに乗車できるので、とても使いやすい駅である。</p> <p>(19) 茨城県民はペットの保有率が高く、ペットの餌の消費量も多いという統計結果を聞いている。多賀地区には獣医やトリミング店があり、河原子北浜にはドッグランもあるので、ペットに着目したまちづくりなども賑わいに繋がる可能性があるのではないかと。</p>

2 まちづくりの理念と基本方針

まちづくりの理念と基本方針	コンセプト	<p>(1) 日立駅や大甕駅周辺に比べて、常陸多賀駅周辺は若者が少ない。現状、常陸多賀駅周辺では年配者が多いので、年配者が楽しく暮らせる街にする方がいいのではないか。</p> <p>(2) 常陸多賀では、ここ数年で若い人達が店をやり始めている。また、これから5年後に日立と常陸太田をつなぐトンネルができると常陸太田の人達も視野に入り、人の動きも変わってくる可能性がある。若い人達にとって良いまちにしていくのも一つの案として提案したい。</p> <p>(3) 10年後を見据えた計画の中で、まちづくりの具体的なイメージがないと次の世代にバトンが渡せない。「日立の中で一番住みやすい街」など、一言で言えるようなまちづくりをしてほしい。</p> <p>(4) どのような街にしたいのか、わかりやすく住民・学生・企業・商店がイメージできるテーマ作りが大切である。例えば、「安心生活のまち」など、住みたくなるような、集いたくなるような、そういった街づくりができるテーマができると良い。</p> <p>(5) 個人的には、常陸多賀はとてもいい街だと感じていて、常陸多賀の駅前にももっと人が来てくれたらいいと思うが、住んでいる人にとっては、スーパーが沢山あって、歩ける範囲に色々な機能が揃っている方が良いと思っているかもしれない。今回のこの計画の中でどこがターゲットになっているのか、住民にとってどんなメリットとデメリットがある計画なのかということを確認に示していただけると、よりイメージが湧きやすいのではないか。</p> <p>(6) 商業施設の誘致を優先するのではなく、魅力ある居住環境を作ることが優先と考える。また、魅力ある居住空間の整備とした場合、例えばコーポレートアイデンティのような、まちの色・ブランディング・強みを作っていくことも重要である。ひたちBRTを売りにしていくのであれば、専用道路の更なる延長や山側団地からの利用のしやすさ、高齢者の移動のしやすさなど、“モビリティ”に特化したまちを作るという考え方もあるのではないか。多賀地区が持っているものを活かすという考えには賛成である。</p> <p>(7) 日本一高齢者に優しいコンパクトシティとして高齢者をターゲットにモデル地区を作ってはどうか。</p> <p>①モデル地区は日立製作所の協力のもと、土地の提供をお願いし、代わりにプロジェクトに参画していただく。</p> <p>②この地区では、自動運転のバスが走り、個人レベルでは2人乗りの電気自動車が専用道路を走る。これにより免許返納のタイミングを遅らせることができ、活動の幅が広がる。</p> <p>③高齢者の転居費用として行政は補助金を出す。</p> <p>④この地区の人口が増えることで様々な商業施設が増え、病院、図書館等も誘致する。</p> <p>⑤高齢者に優しいモデル地区を作ることによって、視察に来られる方が増え、経済の活性化に寄与する。</p> <p>⑥モデル地区としては駅ビルに高齢者専用のマンションを建築する案も併せて検討する</p>
---------------	-------	---

まちづくりの理念と基本方針	にぎわい	<p>(1) 子どもの頃のまちのようになっていたら良いといつも思っている。昔は人と人の繋がりが強いまちだった。そういうまちにならないかと思っている。施設を立派にするということよりも、人が寄り添えるまちにしたい。</p> <p>(2) 駅を中心に住民・労働者・学生・企業・商店が交流できる空間ができることに期待する。</p> <p>(3) 整備完了後に人が多賀に集まる、増えることを期待する。</p> <p>(4) ひたちBRTの乗入れで駅東側にも人の流れができる。人の集まりやすい場ができることで、駅前ににぎわいが生まれる。</p> <p>(5) 駅周辺が賑わうことで、商店も増え、商店街に活気が出ることを望む。</p> <p>(6) 駅前の空地・空きビルの活用が進むことに期待している。</p> <p>(7) 駅周辺の空き店舗・空き地対策</p> <p>(8) 空地が多く、まちが分断されてしまう。</p> <p>(9) 空き店舗が多いので寂しい。</p> <p>(10) 空き店舗が多いため買い物をする人がまばらである。交通機関があまりなく、人が出てこないため更に空き店舗が増えるという悪循環があるため、商店街を活性化してほしい。</p> <p>(11) 狭い常陸多賀のまちでも空き地が多いが、飛び飛びにあるお店を集約することはできないのか。</p> <p>(12) 空き店舗が多いのには家賃が高いなど、色々な理由があると思う。</p> <p>(13) 空き店舗、空地の活用、業種がそろっていない問題点は今までにも話に挙がっていた。その度に家賃が高い、貸したがない等、事業者側では解決できないと、そのまま個店で交渉して叶わず、撤退・閉店・移転した事業者があり、事業者がだんだん減ってきてしまった。このような問題は常陸多賀だけではないので、この間に入ってまち全体のこの先を進めてほしい。</p> <p>(14) せっかく施設を建てるので、空きスペースがあまりできないよう、たくさん話し合いをして進めてほしい。</p> <p>(15) 多賀市民プラザも更なる活用が必要だという話があったが、利用団体には年配の方が多く、年々団体数も減っているようだ。そういう意味では、もっと若い人に活用してもらえる仕掛けや、若者が集まれるスペースを作っていくということも重要である。</p> <p>(16) 多賀の名産づくり、よかっぺまつり、ひたち大道芸、スポーツイベントなどの更なる充実、大型店にない専門のアドバイス・修理などのサービスの充実を図ってはどうか。</p>
	持続可能なまちづくり	<p>(1) 大学通り側に偏る整備とならないか懸念がある。</p> <p>(2) 駅の近くだけのにぎわいで終わらないように整備ができるか、周辺までにぎわいを広げることができるかが重要である。</p>

3 施設整備計画について

施設整備計画	土地利用	(1) 現在駐車場のある市有地に施設を建てるとなると、更にひどい渋滞になるのではないかと危惧している。その点は十分考えて開発を進めてほしい。
	東口	(1) 東口交通広場を整備する際は、宅盤高低差の処理が発生と考える。高齢者は階段の昇降が困難なので、使い勝手が良くなるように整備してほしい。
	駅舎	(1) 改札からすぐに電車に乗れ、降りてからも出やすいので、駅の利用が便利である。【再掲】 (2) とても住みやすい街である。駅も改札からすぐに乗車できるので、とても使いやすい駅である。【再掲】 (3) 東西自由通路には屋根をつけて、雨でも傘無しで利用できると便利である。 (4) 駅周辺が複雑になるのは嫌である。
	その他	(1) よかっぺまつりの開催について、当初はよかっぺ通りを通行止めせず、JAの駐車場など、各駐車場を借りて開催していた。10年程度経ってから、参加者が増えてきたため、よかっぺ通りを通行止めにして開催している。再整備にあたっては、イベント用の屋外電源や駅前のイベントスペースがあれば有効活用できると考える。
	駐車場	(1) 店舗の隣に時間貸し駐車場ができたが、繁盛しているようだ。駅周辺の時間貸し駐車場では、短時間の駐車だけでなく、鉄道利用者のパークアンドライドとしても利用されている状況が見受けられる。 (2) 車を移動手段にする人が多いので、駐車スペースの確保が必要である。 (3) 現在、駅前の駐車場は有効に活用されていると考える。駅前に駐車場は必須である。 (4) 駅前駐車場の駐車スペースが減ると、路上駐車が増えて渋滞が懸念される。夕方から夜にかけて相当数の送迎車がある。 (5) 市営駐車場に施設を造る際、駐車スペースをどのように確保するのか。
	優先度	(1) 大甕駅の整備事業では10年程かかっているのに、ここに挙げている常陸多賀駅の整備では倍の期間がかかるのではないかと。町の状況を踏まえた整備を検討し、駅前整備を集中的に行うなど優先順位を付けて整備した方がいいと考える。 (2) 整備計画で位置付ける事業は大型事業が多く、事業完了までに相応の時間を要する。整備スピードよりも人口減少のスピードが速い場合、施設の床を埋めることも難しくなる可能性があるため、速やかに事業を進めるべきである。

- (1) 駅周辺に生鮮品店がないので、生鮮品を扱う商業施設が必要ではないか。例えば多賀・千石町、東多賀町に住んでいる人達だけでも、最低2万人ほどいて、その人たちも多くの税金を払っている。その分でその人たちが買い物難民にならないような施策も考えていただきたい。
- (2) 公共施設を建てるのも良いが、スーパーのような施設がないと生活するには不便。
- (3) スーパーを誘致してほしい。
- (4) 多賀駅周辺に生鮮食品が購入できる、小さくても良いのでスーパーがあると良い。
- (5) 駅周辺で買い物ができるドラッグストアなどのお店。
- (6) 駅拠点ゾーンに図書館や幼児施設を集約させた方が利便性の向上につながり、住みやすいまちになるのではないか。
- (7) 西側市有地の高度利用にあたっては、核となる施設が必要だと考える。居住系、図書館、スーパーなどの複合施設を想定しているようだが、千葉県などではシニア向け分譲マンションなどの事例もあるので、参考にしてほしい。
- (8) 日立駅の駅舎改修の際に福島県内に視察にいったが、やはり郊外型の団地開発を経て、改めて中心市街地に人を集めようという取組を進めていた。その際に、高齢者向けのマンションに病院を備えた複合施設を視察したので、参考にしてはどうか。
- (9) 中心街の人口増加を考え、店舗併用型大型マンション、子ども連れで遊べる場所づくり、駅前ロータリーを中心に花の多い、ゴミのない、お年寄りにもやさしいまちづくりを推進してほしい。
- (10) 駅周辺に託児所や保育園等があることで、若い世代も多賀商店街を活用できるのではないか。
- (11) まちを訪れる人にどうやってそこに留まってもらえるかという視点が大事だと考える。人がその場所で時間を過ごせば、お金を使う機会も出てくる。若い人が望むようなスポーツ施設などがあっても良いとも考える。
- (12) まだ日立市内に無い外食チェーン店で話題を集める。
- (13) 映画館をつくり、人を集める。
- (14) 駅内に演奏会や落語などの発表できる自由広場があると良い。子供から年配者まで、家族で訪れることができる。
- (15) 駅で待ち時間を有意義に過ごせるようにしてほしい。テレビが見れたり、本や雑誌が読めて、コーヒーが飲める。暑さ・寒さが凌げる。日立や茨城の気の利いたお土産が置いてある。などがあれば電車に乗らなくても立ち寄る人が増えるのではないか。駐車場やスーパーも必要。
- (16) 多賀工場や国分工場で生産している製品、多賀地区の商業・工業・飲食の案内ディスプレイが必要ではないか。
- (17) 緑地のカフェスペースや気軽に食事ができる立ち食いそば、ファストフード店などがあると良い。
- (18) ブームがいつまで続くかわからないが、平地で走りやすいので、ランニングステーションがあっても良いと考える。
- (19) 駅前に建物を造るのであれば、会議に参加している皆が必ず利用するものにしてほしい。公共施設や交流スペースならば、同じエリアに多賀支所があるので、すぐにでも始められるのではないか。
- (20) 市営駐車場に施設を造る際は、図書館などの市関連施設の他に地元の利用スペースや物販スペースがとれるのか。また、物販スペースは地元商店になるのか外部事業者なのか。
- (21) ただ店を出せば良いというのでは魅力が無い。特長・個性・発信力のあるお店を駅周辺に集めてほしい。デザインされた街づくりを望む。

4 公共交通について

交通	公共交通	<p>(1) 堂平からバスが出ているが、日立までで常陸多賀駅には回ってこない。常陸多賀駅への直行バスがあると良い。</p> <p>(2) 多賀地区の消費を支える山側団地の住民が買物難民にならないよう移動手段を確保することも重要である。</p> <p>(3) 市内の各主要団地から駅へのバス本数を増やし、駅周辺で生活用品・食料品の買い物ができるようなれば便利であるし、高齢者が車を運転できなくなっても移動や生活が便利になり、駅周辺も賑わうのではないか。</p>
	ひたちBRT	<p>(1) BRTを日立駅まで延伸する必要があるのか。料金も高い印象がある。個人的には今の路線バスだけで充分だと考える。</p> <p>(2) BRTは料金が高いと感じているが、BRTを路線バスと区別していく場合、どういった付加価値があるのか、上手にPRしていく必要がある。</p>